

日本は環境税を導入すべしー否定側立論ー

「日本は環境税を導入すべし」否定側立論

これから否定側の立論を始めます。僕たちは環境税の導入に反対します。その根拠は3つあります。

第1に、環境税を導入しても二酸化炭素を減らせるとは限らないこと。

第2に、日本だけ環境税を導入してもあまり効果がないこと。

第3に、ガソリン1リットルに対して2円という税金を課すと家庭への負担が高くなってしまうこと。

まず、第1の根拠について説明します。環境税を導入した国では、二酸化炭素の排出量は少ししか減っていません。それなのに、まだ減るとは限らない税を国民からとるのはおかしいのではありませんか。それに日本は、二酸化炭素の排出量が第4位ですが、第1位のアメリカとは4倍以上の差があります。しかし、アメリカは環境税導入には賛成していません。

第2の根拠について説明します。日本、アメリカ、ロシア、中国で、世界の二酸化炭素排出量の半分以上を占めています。1位のアメリカが導入せず、日本だけ環境税を導入してもほとんど無意味です。日本は、2008年までに二酸化炭素を6%減らさなければなりません。これは、世界中の0.3%しか減らしたことになるのです。

第3の根拠について説明します。ガソリン1リットルにつき2円、これは一見とても安いように思われますが、1家庭4人でみると、1年間で3万円もの負担がかかってしまいます。それに消費税のときを思い出してください。この年間3万円の税金が上がることも考えられるのです。

そうすると、今不況で失業率の高い日本では、その3万円が大きいのしかかってしまい、日本の景気はさらに悪くなり、失業率はさらに上がってしまいます。失業率が上がれば、税金などのない他の国に移住してしまう人も出るでしょう。そうなったら日本はどうなってしまうのでしょうか。

以上の内容から僕たちは環境税は必要ないと考えます。これで、否定側の立論を終わらせていただきます。ありがとうございました。

肯定側から否定側への反対尋問

- 地球温暖化を防止する具体策をもっているのですか。
- 温暖化防止のための財源を確保するためにも環境税は必要ではないのですか。
- 炭素税は研究開発をもたらしきっかけになるのではないのですか。
- 21世紀には気温が2℃上がり海面も50cm上昇するのです。あなたたちはどんな考えでいるのですか。

否定側から肯定側への反対尋問

- 日本よりも二酸化炭素を排出しているアメリカ、中国、ロシアが環境税を導入しないのでは効果があまりないのではないのですか。
- 二酸化炭素の削減効果があまり期待できないのに、国民から税金を取るといえるのですか。
- 今でも日本企業の国際競争力が弱くなっているのに、環境税を導入したら、さらに競争力が弱くなるのではないのですか。
- オランダの場合、ガソリン1リットルあたり1.7円の税金がかかります。ところがこれだと大企業あるいは国際競争をしている企業の場合、競争力が落ちてしまうというので非課税になっています。だから日本のようにガソリン1リットルあたり2円でも国際競争をしている企業にとってはダメージが大きいのではないのですか。